

## ワークショップの流れ

**第1回**  
そぞろ歩きしたい通りは？  
8月22日（月）  
時間：10：30～12：30  
場所：豊岡市役所城崎庁舎



**第2回**  
そぞろ歩き実現の効果と課題  
10月27日（木）  
時間：10：30～12：30  
場所：豊岡市役所城崎庁舎



**第3回**  
そぞろ歩きの道を実現するには？  
11月21日（月）  
時間：10：30～12：30  
場所：豊岡市役所城崎庁舎



# 城崎温泉街交通環境改善ワークショップニュース 第3号

2016年12月 発行：城崎温泉交通環境改善協議会

城崎温泉街で観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができる交通環境を整えるための取り組みを考えるワークショップを開催しています。最終回となる第3回のワークショップでは、城崎温泉街でそぞろ歩きを実現したい通りごとに、時期・時間帯や実施する方法を具体的に考えました。

日時：平成28年11月21日（月）10：30～12：30  
場所：豊岡市役所城崎庁舎 参加者：17名

## 1. 前回ワークショップのふりかえり

はじめに、第2回ワークショップ（10月27日）の内容をふりかえりました。前回は、城崎温泉街でそぞろ歩きを実現するにはどうすれば良いか、具体的な対策を考え、実現したい通りの優先順位などを話し合いました。

## 2. グループワーク そぞろ歩きの道を実現するために

グループワークでは、4つのグループに分かれて、それぞれ検討を担当する通りを決めて、そぞろ歩きの道を実現するための方法を検討しました。

検討するポイントについて、土井先生より以下のようなお話がありました。

### 検討のポイント

- ・時間と空間をシェア＝分かち合う方法。車とそぞろ歩きの人とどうやって分かち合っていけばいいかを考えよう。
- ・そぞろ歩きの実現は、プラス面もあるが困る人も出てくる。いろいろな立場で考え方がちがう。地域で意見を出し合って答えを出す。答えが出なくても、それをみんなで共有する事が大事。
- ・実際の取り組みは、行政だけでは動けない。地域の人々がまとまって出した答えに対しては、住民の協力も得やすい。
- ・明日からできること、ちょっと先にできそうなことから取り組んでいく事になると思う。長期的な課題の解決を待つのではなく、できるだけ早いうちに今ある魅力を高めていく取り組みが必要。まずは、そぞろ歩きの道を具体化していくための意見を出し合しましょう。

## 3. グループワークの結果発表

グループで話し合った内容を発表しました。前回のワークショップで優先度が高かった湯の里通りと北柳通りを中心に検討しました。（詳細は次ページ以降に）

### ワークショップの開催趣旨

城崎温泉街の交通環境改善のために地域住民、事業者、行政が協力してどんなことが出来るかを話し合い、現状把握から課題の発見、取り組みの実施体制などを検討します。ワークショップの結果は「城崎温泉交通環境改善協議会」に報告します。



## 市道湯の元神主谷線の愛称を考えよう

ワークショップの参加者で、「市道湯の元神主谷線」がどんな名前だといいかを考えました。

- ・上（かみ）の桜小路
- ・志賀直哉の道
- ・芸術の道（路）
- ・上（かみ）の径
- ・鴻の鳥通り
- ・温泉寺通り
- ・志賀直哉の散歩道
- ・思索の道
- ・桜吹雪どおり
- ・湯の元通り
- ・坂の小径
- ・湯の小道
- ・せせらぎの小径

たくさんの案が出ました。今後、地域の皆さまのご意見も踏まえて決めていきましょう。

## 4. 本日のまとめ・土井先生のお話

今回のワークショップのまとめとして大阪大学特任教授の土井 勉先生よりコメントをいただきました。

- ・みなさんの活発な議論をきいて、どんなことでもいいので1つか2つ、実現したいという思いと、できそうな気がしてきました。
- ・発表のなかで「城崎の宝石箱」という言葉がありました。宝石箱を目指すために、実現するにあたって出てくるリスクをどう克服していくかを考えていく必要がある。
- ・今回のワークショップはこれで最終回ですが、引き続きみなさんのパワーと知恵と地域のネットワークで、「宝石箱」を実現し、それを育てていく仕組みを作りましょう。

### ◆歩行者優先表示看板事例

城崎でも実施しているゾーン30ですが、それだけでなく歩行者を優先することを示す表示を併せると効果が高まると思われれます。写真は東京都水道橋付近の事例。城崎では、浴衣がけのシルエットが似合いますね。



（撮影者：土井勉）

## 今後の予定

### 城崎温泉交通環境改善協議会に報告

この3回のワークショップの結果を1月27日（金）に開催予定の「城崎温泉交通環境改善協議会」に報告し、協議会での検討材料としていただく予定です。

このワークショップを良い機会として、城崎温泉街での「安心・安全なそぞろ歩き」が一日も早く実現することを期待します。

※市広報の配布日程の関係で、ニュース2号3号を同時にお届けしています。

## そぞろ歩きの道を実現するために！！

4つのグループで検討した内容をまとめました。  
優先順位の高かった、「湯の里通り」と「北柳通り」はより深く検討を行い、多様な意見が集まりました。

### 「湯の里通り」でそぞろ歩きの道を実現するには

- ・そぞろ歩きができる城崎のために最も効果が高い道。
- ・県道でもあり、自動車を遮断することは難しいが、通行規制など工夫することで安全安心なそぞろ歩き環境を実現することが望まれる。

#### 案1 こんな通りを目指そう(キャッチフレーズ)

「メインの通りでそぞろ歩き」

#### そぞろ歩きの時期・時間(時間の分かち合い)

期間：繁忙期(夏休み、カニシーズンの週末)

時間帯：15:00~18:00

20:00~22:00(休日22:30)

- ・天候での対応は？雨天に台車で配送は大変。
- ・朝は夕方に比べると外湯の利用者は少ない。
- ・通学路ではない。

#### 実現するための対策

- ・湯の里通りは城崎の動脈、車を完全に止めるのは無理。
- 【車輛の通行規制】
  - ・片側のみ相互通行にする。(交通整理する人件費など問題もある。)
  - ・配送業者は、時間を決めて入ってもらう。通行止め中は配送車を駐車場に停めて台車、電気自動車をレンタルで使って配送できるようにする。
- 【歩行者・歩行空間について】
  - ・歩行者も道いっぱい広がらないようにしてほしい。歩行者優先ゾーンを道路に色を付けて明示しておく。
  - ・できるだけ路上にモノを増やさず、歩行者空間を広くしたい。電柱をなくす。(市道では事業が進んでいる。)
  - ・外側線を引き直し、歩道部に着色を行う。(今よりも歩道部を広く)
- 【駐車場整備】
  - ・駐車場難民を増やさないように、時期によって変わる駐車場の案内をする。
  - ・大型バスが路上停車するのを解消したい。
- 【広域的な交通体系を考える】
  - ・石見銀山などのパークアンドライド実施事例を参考にしてみようか。
  - ・将来的な城崎のまちを考えるとバイパスは必要。

#### 案2 こんな通りを目指そう(キャッチフレーズ)

「がまんの道」転じて『城崎の宝宝箱』へ事業者や店、関係者がお互いに少しずつ不便をがまんすれば、色々な楽しみがある「宝宝箱」のような通りになる。

#### そぞろ歩きの時期・時間(時間の分かち合い)

- ・そぞろ歩きのメインストリートで、通年観光客が多い。
- ・宿泊客のチェックアウトの時間は遅くなる傾向。
- ・業者の車は10:00過ぎに搬入している。
- ・業者車輛の時間規制をする。
- ・業者車輛のパーク&ライドを実施する。

#### 実現するための対策

- ・対策は難しい。県道なので、車の規制はやりにくいのでは…。
- 【目標】
  - ・車の通行量を減らす。危険箇所への手立てを講じる。
- 【車輛の通行規制】
  - ・搬入のため11:00~12:00は進入可とし、それ以降の時間帯は、温泉街の外れに駐車し、そこから台車で搬入する。(パーク&ライド)
- 【バスの通行をスムーズに】
  - ・バス同士のすれ違いが最も危険。従って、大型バスのみ「中の島駐車場」「豊岡市役所城崎振興局の駐車場」に駐車して、まちなかでは循環バスで移動する。
  - ・電柱部分で、バスが立ち往生する。従って、電線の地中化は効果的。順次、地中化を進める。(駅通りと北柳通は完了。)
  - ・まちなかで、バスが立ち往生するポイントがある。バス会社に情報提供する。
- 【送迎車について】
  - ・旅館の送迎を共同でできないか。
- 【問題点】
  - ・迂回路がないことが問題であり、将来的にはバイパスを整備してほしい。

### 「北柳通り」でそぞろ歩きの道を実現するには

- ・大谿川沿いでそぞろ歩きに適した道。すでに花火の時期など部分的に実施できている。
- ・そぞろ歩きの時間帯などを拡大する工夫が望まれる。

#### 案1 こんな通りを目指そう(キャッチフレーズ)

「理想は歩行者専用の道！」みんなで理想も利益も不便もシェア

#### そぞろ歩きの時期・時間(時間の分かち合い)

- ・まず歩行者の統計調査(シーズン毎に)
- ・「車が」通れる時間を決める。
  - 9:00~11:00
  - 15:00~17:00
  - 23:00~7:00

#### 実現するための対策

- 【もしホコ天にしたら】
  - ・北柳のホコ天⇄桃島地区への通行車輛との調整が必要。
  - ・奥に道があるが細くてすれ違えない。
  - ・配達車が出せなくなる？酒屋さんがいる。
- 【案その1】
  - ・まずは半分(一の湯~桃島)でやってみては？問題も見えてくるのでは。
- 【こどもの通り】
  - ・北柳は通園通学には使わない。
  - ・子供も遊べる通りに観光客にとってどういう風に映るか？
- 【その他の事例は？】
  - ・パーク&ライド例：篠山ユニピアのバス(1時間に3~4本)が理想形か。
  - ・歩行者専用例：飛騨高山では、周田に駐車場が多い。
- 【結論】
  - ・一つの通りで考えず、湯の里通りとからめて考える。
  - ・全部ホコ天は正直しんどい。
  - ・許可証制だと警備員の人件費がかかる。→ライジングボラード(自動柵)の設置。

#### 案2 こんな通りを目指そう(キャッチフレーズ)

「人にも車にも優しい道」

#### そぞろ歩きの時期・時間(時間の分かち合い)

- ・年中、日常的に実施。
- ・時間帯は区切れない。ただし、イベント時は別。
- ・通行止めは常時は難しい。

#### 実現するための対策

- 【車輛の通行規制】
  - ・大型車は入らないように規制する。(警察へ要請。)
  - ・一方通行にする。(緊急車両はOK)
  - ・リネン業者の車(4t車)は、建物側によせて停車すればさほど問題は無いのでは？
  - ・旅館組合送迎バスとの延長線上で循環バスを走らせる。
  - ・川沿いの柳を更新して道路幅を広げる工夫。
  - ・電線を地中化し、電柱をなくす。
  - ・北柳では大型車は入れない。
- 【駐車場関連】
  - ・繁忙期やイベント時は、小学校のグラウンド(雨天時は土のため大変、冬場は無理)と中学校の駐車場を利用。
- 【そぞろ歩き支援】
  - ・「座れる場所」は、ごみ問題(コンビニで買った飲物等を置いていく)で微妙なところ。管理が行き届かない。パラペットに座っている。
  - ・休憩場所がない方が、お店に入りお金が落ちる。
- 【車両通行規制と連携した交通】
  - ・車の進入禁止は無理。許可制度にして進入規制をする。
  - ・指定車両の通行は一方通行で対応。
  - ・城崎ナンバー、幼稚園、旅館の送迎を指定車両にするのは難問。生活、商売がある。
- 【店舗等の魅力向上】
  - ・個々の努力でオリジナル性にこだわり商品開発をしている。
- 【広域道路体系の整備】
  - ・中期目標として、円山川右岸に駐車場を作る→用地があるので、バイパス・橋ができれば、駅からシャトルバスで送迎し、周辺も含めて周遊できる。観光客の車も減るのでゆっくりそぞろ歩きを楽しんでもらえる。

### 「駅通り」

#### そぞろ歩きの時期・時間(時間の分かち合い)

- ・カニシーズンと夏場。
- ・午前中はカニを買う人が車を停めることが多い。

#### 実現するための対策

- ・駐車禁止を厳格化。(できればお店の人もお客さんに言ってほしい。)
- ・さとの湯の駐車場を利用してもらう。(1時間無料)

### 「木屋町通り」

#### こんな通りを目指そう(キャッチフレーズ)

『よる道』

・蛍⇒夜 サクラ⇒夜桜 ・みんなが”寄る”道

#### そぞろ歩きの時期・時間(時間の分かち合い)

- 季節：春の桜、夏の蛍、秋の紅葉を楽しめるように  
時間：4:45~8:30 早朝ウォーキングを含めた時間規制  
3月下旬~4月初頃の夜間(ポンポリがつく時期)  
7:45~8:30は通学路の時間規制(実施済み)

#### 実現するための対策

- 【「道の格」を上げる】
  - ・蛍のための植込みの美観を上げる。
  - ・橋を美しくする。
  - ・空家対策。
  - ・道祖神や灯籠があるのでうまく活かす。
  - ・植栽帯の草花の種類がバラバラなので一体感を出す。
  - ・サクラ(ソメイヨシノ、八重桜)の更新。(昭和初期に植樹。)
  - ・道の格を上げる標識、看板等。例：『蛍のために〇〇しています』
  - ・このような対策により、事業者や店が増加する。
  - ・「道の格」が上がると「湯の里通り」との循環が生まれる。

### 「市道湯の元神主谷線」

#### こんな通りを目指そう(キャッチフレーズ)

「芸術の路(道)」

#### そぞろ歩きの時期・時間(時間の分かち合い)

- ・春の桜の時期

#### 実現するための対策

- ・そう問題は感じられない。
- ・鴻の湯の前に橋があると歩行者の動線が良くなる。